

体育祭お疲れさまでした！ 長かった夏もようやく過ぎて、秋らしくなってきましたね。

秋といえば「読書の秋」が有名です。諸説ありますが、中国の唐時代の詩人韓愈（かんゆ）が読んだ「灯火親しむべし」という漢詩が「読書の秋」の由来になっているといわれています。この詩は「秋は過ごしやすい季節だから、夜には明かりを灯して読書をするのに最適だ」という意味があり、夏目漱石が『三四郎』という作品の中で引用したことで、秋といえば読書のイメージが日本中に広まったようです。

読書に限らず、過ごしやすいこの季節にさまざまなことに挑戦してみたいはかがででしょうか。

10月27日(日)～11月9日(土)は読書週間です



終戦まもない1947年(昭和22)年、まだ戦火の傷痕が至るところに残っているなかで「読書のおかげで、平和な文化国家を作ろう」という決意のもと、出版社・取次会社・書店と公共図書館、そして新聞・放送のマスコミ機関も加わって、11月17日から、第1回『読書週間』が開催されました。そのときの反響はすばらしく、翌年の第2回からは期間も10月27日～11月9日(文化の日を中心にした2週間)と定められ、この運動は全国に広がっていきました。

(公益社団法人 読書推進運動協議会HPより引用)

読書週間企画として、南三陸町図書館の本をお借りして、出張図書館を予定しています。

来月、図書館前廊下にて展示予定なので、お楽しみに♪



リクエスト本を募集します☆

来月の後期中間審査終了後、図書委員が書店で本を購入してきます。図書館に置いて欲しい本があれば、QRコードからリクエストしてください!(※リクエストに応えられない場合もあります。)



↑リクエストはこちらから↑

選書会に参加したい人も大募集中!!

興味がある人は、今月中に図書館・吉田までお知らせ下さい。

日時: 令和6年11月26日(火) 12:15～14:45 予定

場所: 宮脇書店佐沼店(イオンタウン佐沼内)

交通手段: モアイバス

南三陸町図書館「第1回図書館まつり」に参加します!

図書委員が読み聞かせ会に参加してきます!! お時間ある人は、ぜひ来てください☆

DVDの上映会やリサイクル市、ラムサール展なども実施されるようです。

日時: 10月27日(日) 9:30～(30分程度)

場所: 南三陸町図書館 キッズスペース

※詳しい日程は、図書館前のポスターをご覧ください。



読書感想画コンクールに応募しよう!

指定図書5冊を紹介します。図書館でも注文中なので、読書感想画コンクールに興味のある人は早め読んでおきましょう。自由読書の部もあるので、自分の好きな本で読書感想画にチャレンジしてみてもいいです。



『夜空にひらく』

著者:いとうみく

出版社:アリス館

同じ屋根の下で言葉を交わし、食卓を囲む日々。すこしずつ、円人は自分自身と向き合っていきます。血のつながりだけが家族ではないこと、何かに夢中になることの喜びを感じられ、あたたかく心をゆさぶる再生の物語。

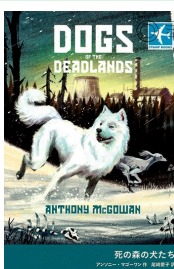


『リラの花咲くけものみち』

著者:藤岡陽子

出版社:光文社

聡里は「伴侶動物」専門医を目指していたが、馬や牛など「経済動物」の医師のあり方を目の当たりにし、“生きること”について考えさせられることに——。第7回未来屋小説大賞第1位。第45回吉川英治文学新人賞受賞作。



『死の森の犬たち』

著者:アンソニー・マゴワン

訳:尾崎愛子

出版社:岩波書店

チェルノブイリの原発事故で生き別れになった、少女ナターシャと子犬のゾーヤ、さらにその子ミーシャの運命は?野生動物のすむ原生林を舞台に、スリルと驚きに満ちた冒険が、いま始まる!



『レッドリスト・プラネット』

野生生物を守り、地球を救うために』

著者:アンナ・クレイボーン

訳:大山泉

出版社:評論社

近年「絶滅」という言葉を聞く機会がふえました。野生生物の絶滅はなぜ起こるのでしょうか?人間の営みとからめ、生物種の歴史や現状を知り、この事態に対して私たちに何ができるのか探ります。



『深海ロボット、南極へ行く』

極地探査に挑んだ工学者の700日』

著者:後藤慎平

出版社:太郎次郎社エディタス

少ない予算、短い開発期間、未知の環境。厳しい制約のなか、容赦なく降りかかる難題の数々を、機材やケーブルのメーカーの技術者と知恵をもちよって解決していきます。南極での過酷な野外生活興味をそそります。

○応募区分

指定読書…今回のおたよりで紹介した5作品

自由読書…自由に選んだ図書(指定図書以外の図書で、海外で出版された図書・日本語以外の図書・教科書・副読本・読書会用テキスト類またはそれらに準ずるもの、および雑誌・付録は除く)

○用紙…画用紙・ケント紙・キャンバスボード・マニラ紙・ボール紙いずれか。(ワク貼りキャンバスや木製パネル等厚みのある作品は不可。)

○画材…クレヨン・パステル・水彩・油絵具など自由。(版画・はり絵も可。)

○寸法…36cm×25cm以上で、55cm×40cm以下

○校内締め切り…令和6年12月23日(月)

図書館担当・吉田まで。



図書委員今月の一冊

No Image

『台湾在住YouTuberと一緒に学ぶ』

マネするだけ台湾華語フレーズ70』

著者:エビリンチャンネル

出版社:KADOKAWA

・カタカナ表記があってわかりやすい!

・章の終わりには、その章で出てきたフレーズがまとまっているので見返したいときに便利!

・コラムには台湾の常識・豆知識がまとまっていておもしろい!